

2026年度 公共・倫理 出題の意図

高等学校卒業程度の学力を問う問題である。

問題1

「公共」に関する高等学校卒業程度の学力を幅広く問う問題である。「公共の扉」の部分や中学校でも学習した基本的な内容についてもきちんとカバーしていただきたい。問8は課題解決型の思考を問う設題である。問題解決型の思考をするためには、まずは問題を発見し、その原因を探ることが必要になる。公共の教科書で指摘されている社会的課題に対して、その原因がどこにあるのかということも考えるようにしてほしい。

問題2

外来思想である仏教がどのように日本へ定着していったのか、とりわけ神道とどのような関係を築いていったのかを問うものである。問いは、仏教伝来以前の古神道の基本的な思想を確認する部分と、仏教と神道の関わりを考察する部分とに大別される。現代日本の思想的・文化的背景を理解するうえでも、また異なる宗教の共生を考えるうえでも、知っておいてほしい基礎的な内容を出題した。

問題3

「正義」を個人の権利と社会のあり方との関係から捉え、古代から現代に至る正義論の展開について、高等学校卒業程度の理解を問う問題である。入学後の学びにおいては、倫理や公共で学んだ知識を個別の知識としてではなく、思想史的な大きな連関の中で捉えることが重要となる。本問はその基礎として、アリストテレスやアウグスティヌス、ホッブズなど、西洋における主要な思想家の考えとその連続性について理解していることを期待するものである。